

トピックス

災害時の住環境・生活環境EXPO2018が開催

親子、地域で考える防災対策

10月15日、16日に京王プラザホテル（東京都）で、（一社）地域防災支援協会と（一社）日本環境保健機構などが主催する「災害時の住環境・生活環境EXPO 2018」が開催されました。

第2回となる今回は、同時開催された第4回「みんなのアレルギー EXPO 2018」と合わせて115社が出展し、多くの親子や地域団体の関係者らが参加しました。



イベントの様子



防災ブースに設置された「避難所再現エリア」

防災ブースでは、（公社）中越防災安全推進機構の「避難所再現エリア」や、工学院大学による災害時の帰宅困難者受け入れ施設の開設を支援する「一時滞在施設開設キット」などが展示され、防災マニュアルを見える化し、施設の機能ごとに必要とされる手順書や掲示物、道具類などをパッケージ化したものが紹介されました。

また、キッズコーナーでは、防災ゲーム「なまずの学校」を使ったイベントなどが実施され、災害時に必要なものや、アレルギーを持つ子どものための食事などについて、一緒に考えながら楽しく学んでいる親子の姿が多く見られました。

お金を支払う前に、警察等に相談を！

「スマホで稼げる」広告に注意

消費者庁は10月、「スマホをタップするだけでお金が稼げる」などとうたい、多額の金銭を支払わせる事業者「株式会社Quest」を公表し、注意を呼びかけています。今年の4月以降、同社に関する相談が各地の消費生活センター等に数多く寄せられているといいます。

同社は、SNS等の広告に「スマホをタップするだけでお金が稼げる」などと掲載し、抽選イベントを実施しているウェブサイトへ誘導。特別プレゼントを受け取ることができるなどとして、LINEの友だち登録を促し、このビジネスを考案したとする人物が収益を得た事例を動画で見せ、消費者を申し込み用ウェブサイトへ誘導。ウェブサイトには「期間限定で

5万円プレゼント」などと記載し、消費者に損をすることはないと思わせ、まず初期費用1万8000円を支払わせる仕組みです。

今回、同庁の調査で、これらが虚偽・誇大な広告・表示であることが判明。同庁は、特に簡単に高額収入を得られることを強調する広告や宣伝への注意を促しています。また、カリスマ的な指導者が収益を得ていることをアピールしたり、虚偽の体験談を掲載したりして、信じ込ませようとする業者も存在するとして、少しでも怪しいと思ったら、お金を支払う前に、消費者ホットライン（188）や警察（#9110）に相談するように呼びかけています。

詳しくは、下記ページをご覧ください。

http://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_policy/caution/pdf/consumer_policy_caution_181017_0001.pdf